

療育の基本方針

子どもを育てるのは、村中の大人の知恵と力と愛が必要です。

- 1 子どもの最善の利益を大切にし、子どもの命を守り、健やかに育てます。
- 2 子どもの現在の発達・心の状況を知って、チームみんなで支援します。
- 3 子どもの気持ちを受け止め、SCALE（サポート・ケア・受容・ラブ・勇気づけ）。
- 4 子どもが自分のより高い課題に対して、葛藤をしながら乗り越えていこうとする気持ちを丁寧に励まします。
- 5 発達支援の在り方を常に学び、人権・適正な倫理観に基づく支援を行います。
- 6 将来を見据え社会スキルを身につけることを大切にします。
- 7 社会モデルを基本とした家族に対する支援を行います。

1983年(昭和58年)4月
「麦の子学園」札幌元町教会会堂を借用して開園(入園児5名)

1996年(平成8年)
社会福祉法人麦の子会認可

2012年(平成24年)
福祉型児童発達支援センター、児童発達支援事業、放課後等デイサービスへ拡充

2020年(令和2年)
医療型児童発達支援センター「札幌市みかほ整肢園」指定管理者

「むぎのこ」のいわれ

聖書にある「一粒の麦」のたとえ話で、踏まれれば踏まれるほど強く成長する麦のように、子どもたちが未来に向けて、豊かに伸びていくことができるようにとの願いがこめられています。

支援の内容

むぎのこは、支援の必要があるお子さんに、専門的な支援を行なう施設です。

「発達支援」「相談支援」「家族支援」「地域支援」の4つを柱に据え、お子さんの個性に合わせた支援を行ないます。



〒007-0836 札幌市東区北36条東9丁目1-1
社会福祉法人麦の子会 **難聴児支援部**
TEL.011-776-6856 FAX. 011-776-6857
satouad@muginoko.com (担当・佐藤)

社会福祉法人 麦の子会



難聴児支援

児童発達支援(幼児)
放課後等デイサービス(学童)



<http://www.muginoko.com/>



難聴のお子様を支援します!!

- ☆福祉型児童発達支援センター
「むぎのこ児童発達支援センター」
- ・通所
- ・保育所等訪問支援事業
- ・居宅訪問型児童発達支援

- ☆医療型児童発達支援センター
「みかほ整肢園」
- ☆児童発達支援事業(10)
- ☆放課後等デイサービス(17)

- ☆日中一時支援(5)
- ☆札幌市障がい児等療育支援事業
- ☆「むぎのこ発達クリニック」

* 赤字は難聴児支援と関連の深い事業

- ☆小規模住居型児童養育事業 (ファミリーホーム)(2)
- ☆短期入所(ショートステイ) (3) ☆里親
- ☆地域相談支援「相談室セーボネス」
- ☆計画相談支援 ☆居宅介護
- ☆生活介護 (3) ☆就労移行支援
- ☆共同生活援助(グループホーム) (11)
- ☆企業主導型保育事業「むぎのこ保育園」
- ☆「スワンカフェ&ベーカリー
ハーベスト・ガーデン」

☆「西尾リプロセス心理臨床研究所」
* () 内の数字は事業所の数

○お問い合わせ先：
TEL.011-776-6856 FAX.011-776-6857
satouad@muginoko.com
難聴の程度にかかわらず、
お気軽にご連絡ください!

むぎのこの支援機能を最大限に発揮!!

本人支援 保育士、児童指導員、作業療法士、医師などによる 発達全体への支援
さらに、言語療法士、音楽療法士、元聾学校教員による 難聴への支援

家族支援 難聴児支援に関わる 情報の提供
心理士、相談員、先輩お母さんによる個別・グループ カウンセリング

地域支援 在籍する 幼稚園・保育所・学校・通園事業所等への支援

児童発達支援 (幼児)	放課後等デイサービス (学童)
-------------	-----------------

- 自由・設定遊びをはじめ、生活全般を通じて、自然なコミュニケーションによる聴覚活用や言語運用を進めます。
- 集団の 音楽リズム、歌遊びなど、聴覚と運動・歌唱のつながりを大切に活動を行い、楽しい聴覚学習を促します。
- 絵本の読み聞かせにより、聴覚活用や 抽象的な思考力の伸長を促します。
- 日常的な 集団行動や発表会等の 行事を通じて、行動スキルの獲得を進めます。
- 日常的な 散歩や園庭遊びのほか登山や運動会等の 季節行事を通じ、体作りを進めます。
- 集団の自由・設定遊びを楽しみながら、子供の同士の様々なふれあいを通じて、年齢相応の社会性を育てます。
- ご希望を踏まえ、ことばやコミュニケーション、行動、運動機能など、個別の課題に対し、個別に支援を行います。
- 時間：幼児10:00～15:00 (前後可能)

- 学校の補習・宿題・予習、季節ごとの行事、社会スキルの学習などを通じ、コミュニケーションの力や社会性を育てるとともに、自尊感情を高める支援を行います。
- 時間：学童14:30～16:30

幼児・学童共通事項

- 医療機関と連携し、補聴器や人工内耳を使用した 聴覚の活用を大切に、言語能力の育成をねらった支援を行います。
- 難聴はもとより、発達障害や知的障害に対し、愛着の形成を重視し、全職員で統一した支援を行います。
- 送迎 (3歳以上)・単独通園によって、毎日の利用も可能です。保護者様は安心して働きながら子育てができます。
- 経費は、札幌市の規定によります。幼児(3歳～)は無料です。給食費・教材費等は実費を頂きます。